

NPO 法人活動紹介（特定非営利活動法人民族フォーラム、マンション GPS、NGO 多文化共生協働センター・川口、JIN 愛育センター）

今回は、川口市内の4つのNPO法人（民族フォーラム、マンションGPS、NGO多文化共生協働センター・川口、JIN愛育センター）の共催により平成27年3月18日（水曜日）に川口市西公民館で開催された、世界家庭料理教室（インドネシア家庭料理）を取材しました。当日は、民族フォーラム理事長の山本孟人氏からお話を伺いました。

<世界家庭料理教室について>

料理教室は平成26年度から新たに始めた事業で、今回で4回目。毎回多くの方々が参加していて、盛況だそうです。以前は、イベントで海外の料理の屋台を出すことはあったものの、それでは一過性のものになってしまうため、実際の料理作りに参加してもらって国際理解を深めてもらいたいと考えたのが、料理教室を始めたきっかけだとのこと。料理教室では毎回、レストランでは食べられない、各国の家庭で作られている料理を扱うようにしているそうです。家庭料理であれば、参加者が自宅で再び作ることができるというのも、家庭料理の利点の一つなのだそうです。7年度も3か月に1回程度開催していきたいとのことで、ゆくゆくは全世界の料理を網羅できれば、とのこと。

<当日の様子について>

今回は、川口市在住で大学や企業でインドネシア語の講師をされている、中村ムットマイナさんが講師を務めました。今回は数種類のインドネシア家庭料理をグループに分かれて作りました。インドネシア料理はにんにくやコリアンダーなどのスパイスをたくさん使うため、調理室の中がスパイスの香りであふれていました。参加者の中には、初めて参加した方もいれば、過去にも何度か参加したという方もいらっしゃいました。皆さん和気あいあいと楽しそうに料理を作っていたのが印象的でした。料理の試食タイムには、中村さんと参加者の間でインドネシアの文化や風習に関する質疑応答が行われ、楽しい異文化交流が行われたとのこと。



講師の中村ムットマイナさん

<4つのNPO法人のネットワークについて>

川口市内には多くの外国人の方が住んでいます。そうした中で多文化共生をすすめていくために、1つのNPO法人ではできることが限られてくるため、ネットワークを作って協力しあいながら事業を行っているとのこと。現在は、料理教室のほか、JICA（国際協力機構）の出前講座や青年海外協力隊OBによる講演会などを開催しています。他の団体と協力することによって、自分の団体も成長することができるというメリットもあるとのこと。今後、ネットワークで実施する事業を増やし、異文化交流に興味を持つ人を増やしていきたいとのこと。



調理中の様子。レシピに沿って、皆さん協力し合いながら手際よく作っていました。



「アヤムゴレン」というインドネシア風
フライドチキン



「タフー・トゥミス」という揚げ豆腐と玉ねぎ
の炒め物